

# 南部片富士湖だより

No. 65 平成23年10月21日 発行

北上川ダム統合管理事務所 管理第二課

〒020-0123

盛岡市下厨川字四十四田1番地

TEL 019-643-7972

FAX 019-643-7976

## 環境にやさしいルアー作り&釣り体験 2011!



開催しました。

10月2日(日)、四十四田ダムを会場に、『環境にやさしいルアー作り&釣り体験』を開催しました(主催: NPO法人日本釣り環境保全連盟NBCチャプター岩手、支援: 北上川ダム統合管理事務所)。これは、釣りの楽しさや、釣りという遊びをとおして環境保全の大切さを学ぼうという目的で行われたものです。

一般に募集し、子供8人と保護者含めて総勢20名で行われました。

はじめに、北上川ダム統合管理事務所内にあるものしり館にて、四十四田ダムについて説明を行いました。その後、「環境にやさしい素材」を使用し、ルアー作りに挑戦しました(写真右)。この「環境にやさしい素材」は、豚の皮を使ってできていて水中に残っても鉛などとは違い、自然にかえる素材でできているそうです。紙に型紙となる下絵を描き、ハサミで同じように切るとルアーの完成です。

昼食をはさんで、午後からは作成したルアーを使い釣りの体験をしました。開始1時間ぐらいい経ったところで雨が降り始め、あいにくの天気となりました。釣りの成果は?というところ・・・残念ながら1匹も釣れず寂しい結果となりましたが、釣り体験は初挑戦の方が多く、実際に体験できたのが「成果」と感じた方が多かったようです。

参加者からは、「機会があればまた参加したい」や「楽しかった」との声が多くありました。この『環境にやさしいルアー作り&釣り体験』は、来年も開催予定ですので、たくさんの方に参加し色々な体験をしてほしいと思います。



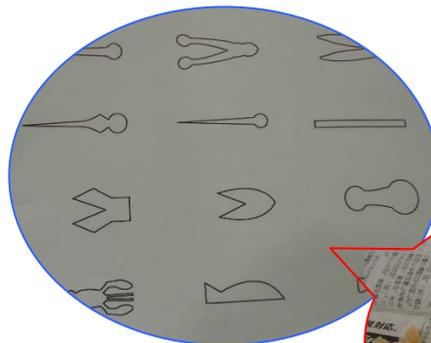
全員で記念撮影



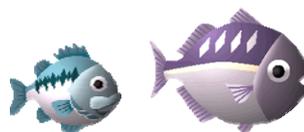
ルアー作りに熱中しています



実際に釣りを体験する参加者



← この型紙をつかうと  
このように出来上がります。





# ☆ ダム見学 ☆



10月3日（月） 盛岡市立松園小学校

5年生と引率者合わせて47名の見学は、ものりし館内で概要説明やビデオ鑑賞後、ダム内部や四十四田発電所を見学しました。  
児童からは、「なぜ『四十四田』とよぶのか」や「ダムにはどんな魚がすんでいるのか」など、沢山の質問がありました。



10月4日（火） 社会福祉法人愛育園

5～6歳の園児と先生、合わせて35名が訪れました。ダム内部は急な階段が多いため、中央付近のたわみ計を見学し折り返して戻るコースとなりました。  
園児たちは、自分たちがダムの中を歩いていることに不思議な感覚を感じ、また驚きも大きかったようで、また見学に訪れたいとの感想が多数ありました。



10月7日（金） 一関市立清田小学校

清田小学校では3～4年生と先生合わせて19名が訪れ、ダム内部の見学が行われました。コースは、川の流にそって右岸側から入り、左岸側の四十四田公園そばの出口までです。左岸側には傾斜45度の急な階段があり一番の難所です。子どもたちは元気に登りましたが、案内した職員は汗だくだったようです。



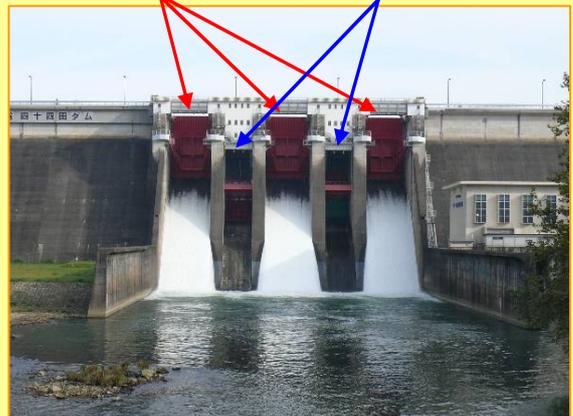
## クレストゲートから「初」放流

昭和43年に四十四田ダムが完成してから、初めてのクレストゲートから放流が行われました。毎年実施しているゲート点検時には開閉をしていますが、ダム放流は初めてとなりました。

クレストゲートは、大洪水時に放流する非常用のゲートとして設置していますが、今回は、水難事故対応のためにクレストゲートからの放流を行いました。

写真中央部の3門の赤色ゲートがクレストゲート、その間にあるのが、通常の放流時に使用するオリフィスゲートです。

クレストゲート      オリフィスゲート



## 編集後記

10月も半ばを過ぎ、気温も1ヶ月前と比べると10度以上も低くなってきました。朝晩の冷え込みも厳しくなり、暖房器具が手放せなくなってきた今日この頃・・・そのおかげ？なのか、食欲は増進。秋の味覚を代表するものは、ほとんど食べきったと自負しています（笑）。

秋の味覚といえば、鮭もそのひとつ。前号の南部片富士湖だよりでもお伝えしましたが、四十四田ダム下流には、たくさんの鮭が戻ってきました。この時期にしか見れない光景、毎年当たり前のことのように感じますが、ひとつひとつ大事な思い出として残したいと感じました。（福）

